

EcoNavi

01



スマホをかざせば、「暮らしの壁」がなくなる。
AIが叶えるストレスフリーな日本の暮らし。

私たちが挑む社会課題



日本に住む外国人が直面する「ごみ分別の壁」

【問題点】

－複雑すぎるルール－

自治体ごとに異なる、世界でも類を見ない細かさ。

－言葉の壁－

日本語のみの説明が多く、ルールを正確に理解するのが困難。

－心理的ストレス－

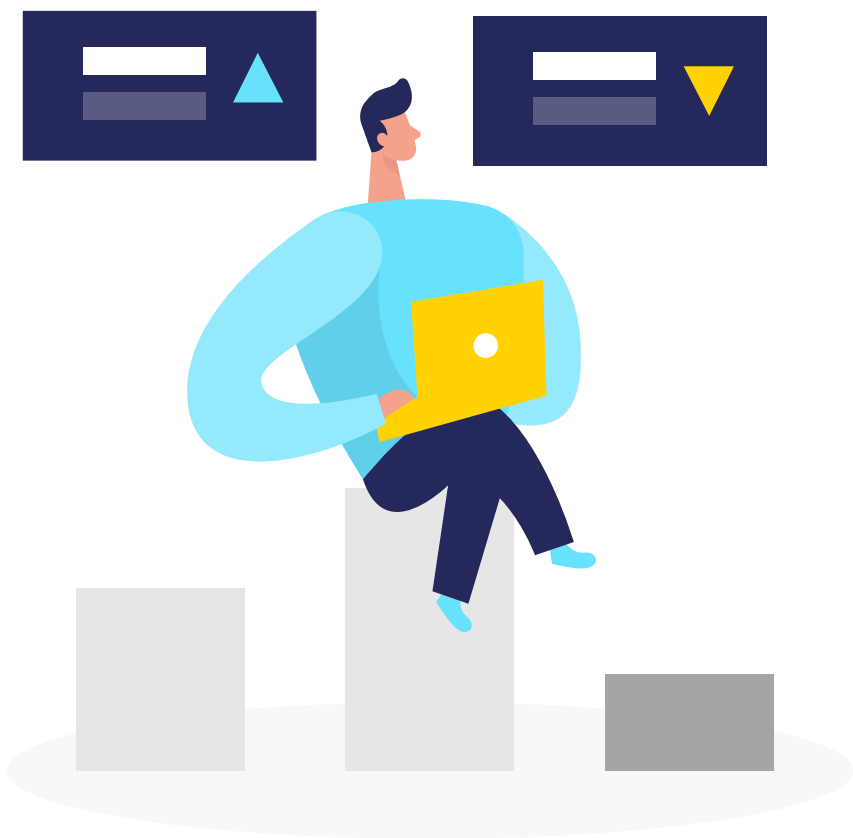
「間違えたらどうしよう…」という不安。

近隣住民とのトラベルへの恐怖。

社会から孤立しているような感覚。



「これは、個人の努力だけで解決できる問題ではない」



私たちの解決策 「EcoNavi」



解決策は、スマートフォンの中に。

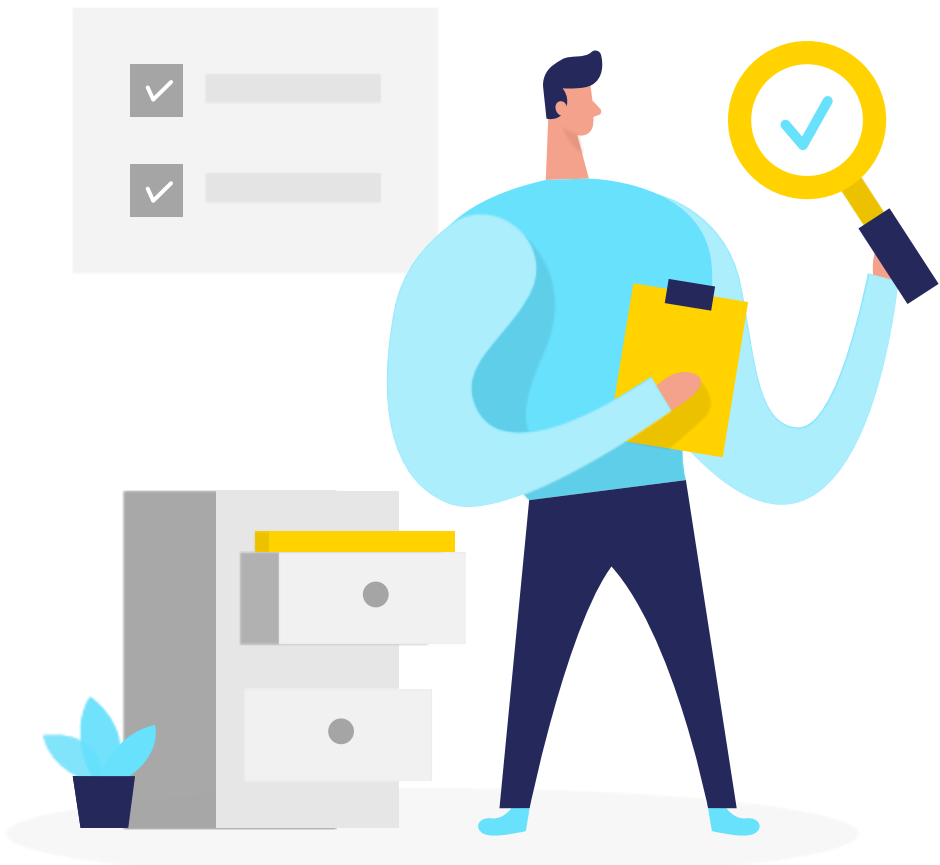
多言語対応AIごみ分別アプリEcoNavi

EcoNaviが提供する3つの価値

- 1. いつでも正しい情報で安心！**
- 2. 言葉の壁をなくし、みんなが使いやすく！**
- 3. 楽しく続けて、未来の地球に貢献！**



撮るだけ、わかる。あなたの街の、あなたの言葉で。



迷いがなくなる 3 ステップ

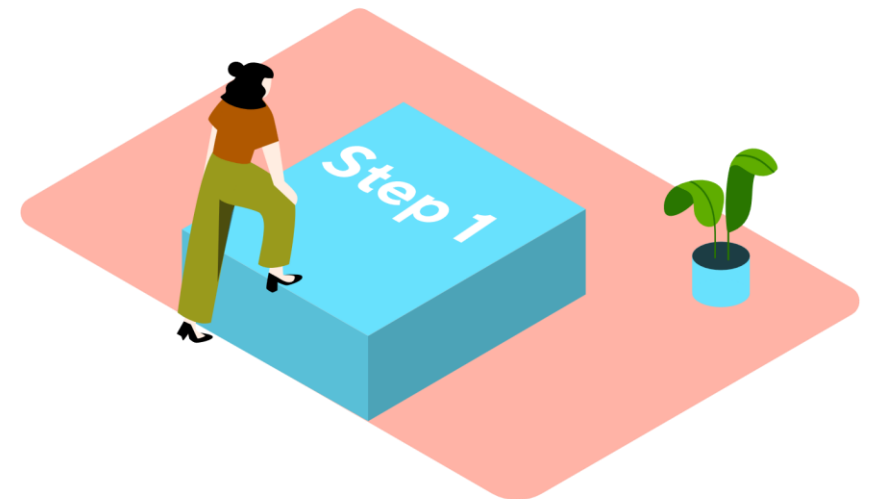


EcoNaviは、驚くほどシンプル。



STEP 1: 地域設定

お住まいの市区町村を設定する。
(位置情報を許可すれば、自動でお住まいの市区町村が設定される)





EcoNaviは、驚くほどシンプル。



STEP 2: 撮影/スキャン

次に、ごみやバーコードをカメラで写す。





EcoNaviは、驚くほどシンプル。

これなら、もう迷わない！



STEP 3: 結果表示

そうすると、そのごみは何なのかを教えてくれて、あなたの言語で正しい捨て方がわかる。

収集日を確認をクリックすれば、Googleで検索していつごみを出せばいいのかもわかります。

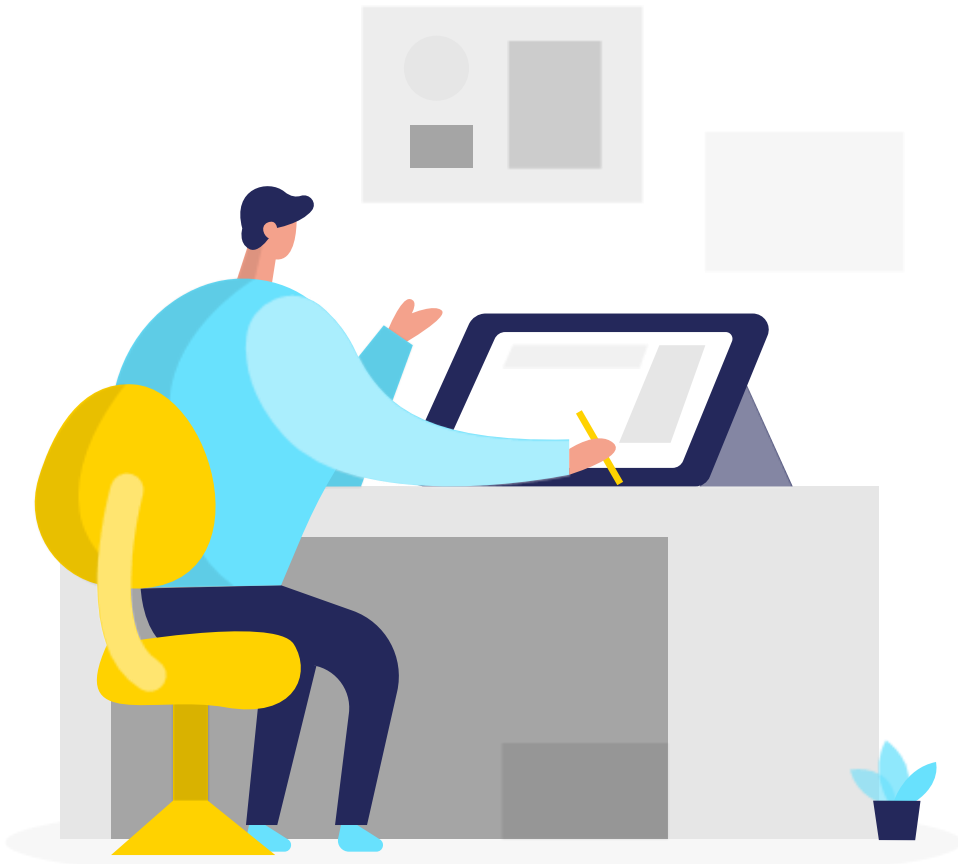




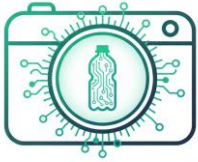
EcoNaviは、驚くほどシンプル。



EcoNaviを支える 5つの主要機能



EcoNaviを特別なものにする、5つの柱



AI画像 & バーコード認識

写真やバーコードから、複雑な素材も瞬時に特定。
ユーザーの手間を最小化します。

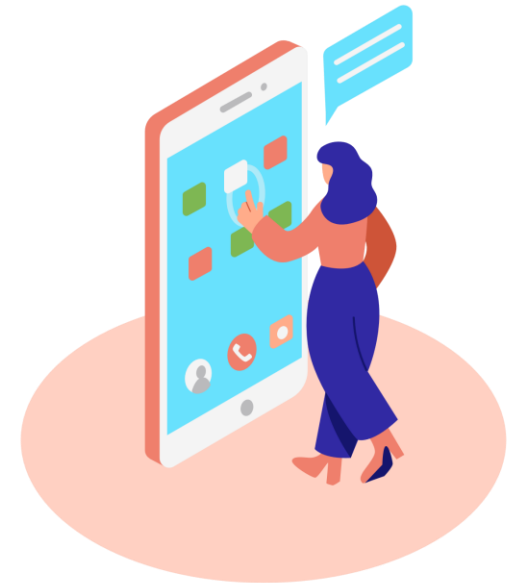


EcoNaviを特別なものにする、5つの柱



多言語 & やさしい日本語

多くの言語に対応。日本語学習者向けに、ふりがな付きの簡単な日本語表示も可能です。



EcoNaviを特別なものにする、5つの柱



リマインダー & 収集日カレンダー

「明日は燃えるごみの日です」といった通知機能で、出し忘れを防ぎます。



EcoNaviを特別なものにする、5つの柱



実績バッジ（ゲーミフィケーション）

「初めての分別」「リサイクルマスター」など、楽しみながら分別を習慣化させます。



EcoNaviを特別なものにする、5つの柱



エコポイント & ストア

毎日のログインや分別、豆知識の閲覧でポイントが貯まります。

貯まったポイントで、アプリの背景テーマ（季節限定もあり！）などと交換ができます。



EcoNaviは誰の課題を解決するのか？



誰のためのサービスか？

06

メインターゲット

- 日本に住む全ての外国人（約340万人）留学生、技能実習生、国際結婚のパートナー、高度人材など。
- 課題：言語の壁、文化の違いによる生活上の困難。
- 市場規模：今後も増加傾向にあり、ポテンシャルは大きい。



誰のためのサービスか？



セカンダリーターゲット

- ・分別に悩む日本人：

- 学生、新社会人、単身赴任者など、新生活を始める人々。
- 留学生、技能実習生、国際結婚のパートナー、高度人材など。

- ・高齢者：細かい文字の分別表が見つらい方々。

- ・環境意識の高い層：もっと正しく、効率的にリサイクルしたい人々。

持続可能なビジネスモデル



個人向けプラン (B to C)

持続可能なビジネスモデル (全機能を開放し、価値を体感)

継続利用



フリープラン	プレミアムプラン
無料 将来的な展開 (BtoB / BtoG) 自治体、不動産管理会社、大学、企業など広告およびライセンス提供。 基本機能を利用可能	月額 370円 新機能への早期アクセス

「コンピニョーヒー」2杯分で、毎日のストレスを解消」

将来的な展開 (B to B / B to G) ー ライセンス提供

東急住育住宅向け(BtoB)G:

留保率や新築率の向上に関する情報提供の場を設け、地域活性化支援。
外資系企業との情報提供の場を設け、多様な企業との連携を促進。



EcoNaviが社会にもたらす価値





EcoNaviが目指す、より良い社会を

リサイクル率の向上	多文化共生の促進	自治体のコスト削減
正しい分別は、質の高いリサイクル資源を生み出す。 地球環境の保護に直接貢献。	言葉の壁を取り払い、外国人が地域社会にスムーズに適応できるよう支援。 誰もが暮らしやすい街づくりへ。	不適切なごみの処理にかかる行政コストを削減。 より効率的な社会システムを実現。



小さな分別から、大きな変革を。

EcoNaviの競合優位性



EcoNaviの独自性

09

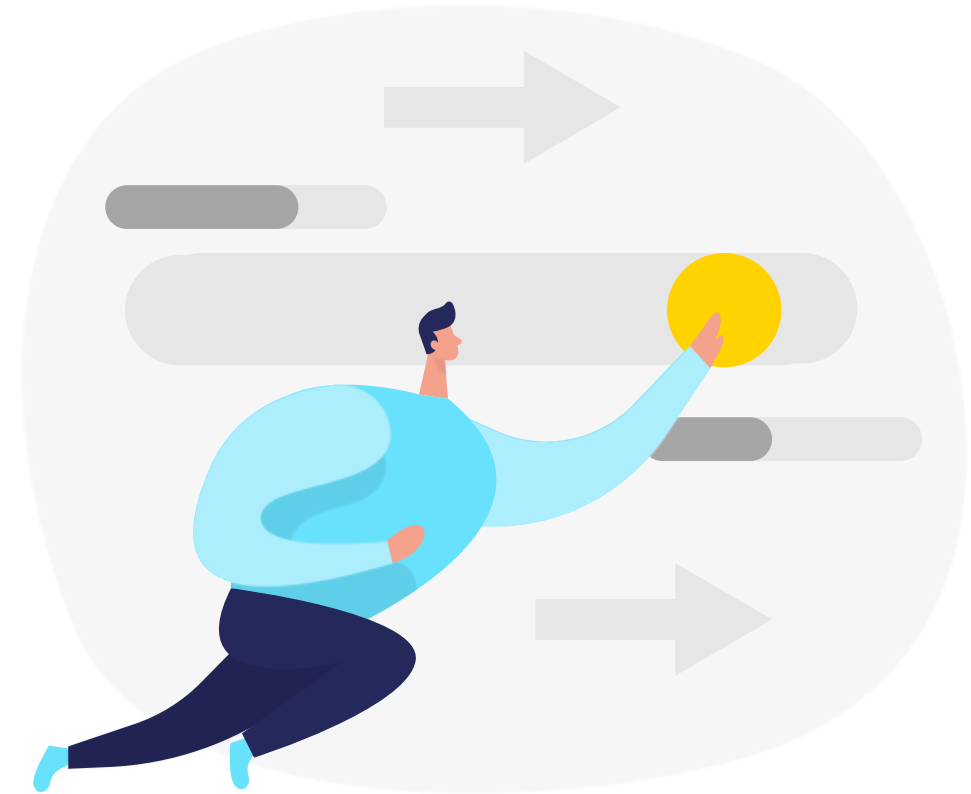


	EcoNavi	既存のごみ分別アプリ	自治体のWebサイト/冊子
AIによる写真・バーコードでの判別	✓	✗	✗
多言語対応	✓	△ (一部のみ)	✗
ゲーミフィケーション	✓	✗	✗
ユーザー体験の最適化	✓	△	✗



テクノロジーとUXで、既存の課題を乗り越える

私たちの現在地





私たちの現在地

客観的な意見が欲しい..



行動と実績

 **課題発見** - 日本で暮らす外国人のリアルな声からアイデアを着想。

プロトタイプ開発

主要機能 (AI判別、地域別ルール、バッジ機能) を搭載した試作品を既に開発済み。

ユーザーテスト

友人・知人に試用してもらい、「使いやすい」「これなら続けられる」と高評価を獲得。

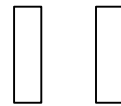
現在

フィードバックを元にした機能改善とビジネスコンテストへの挑戦 (まさに今、この場で！)

事業の成長ロードマップ



EcoNaviのロードマップ



アプリの完成度向上:

- └ 対応言語・自治体データの拡充
- └ ユーザーフィードバックの反映

初期ユーザー獲得:

- └ SNS、日本語学校との連携

ビジネスモデルの検証

データ活用:

- └ 分別データを活用したリサイクル促進コンサルティング

海外展開:

- └ 日本の分別ノウハウを世界へ

Phase 1: 基盤構築
(現在～1年後)

Phase 2: 事業拡大
(2～3年後)

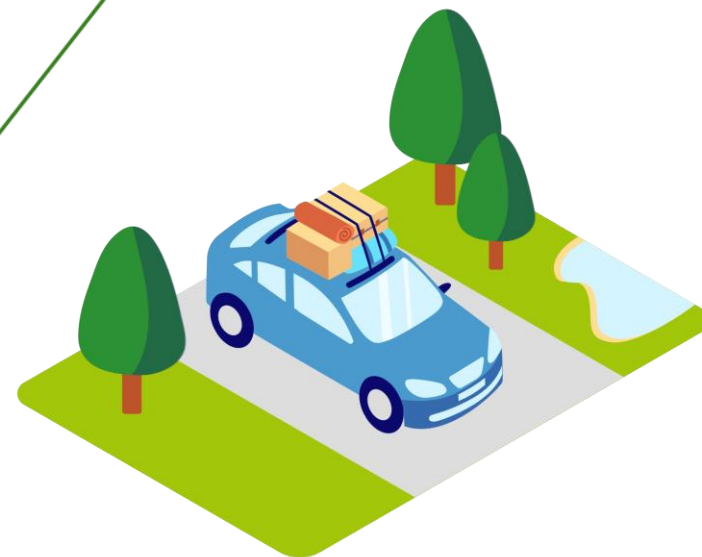
Phase 3: プラット
フォーム化
(4年後～)

BtoB/BtoG展開:

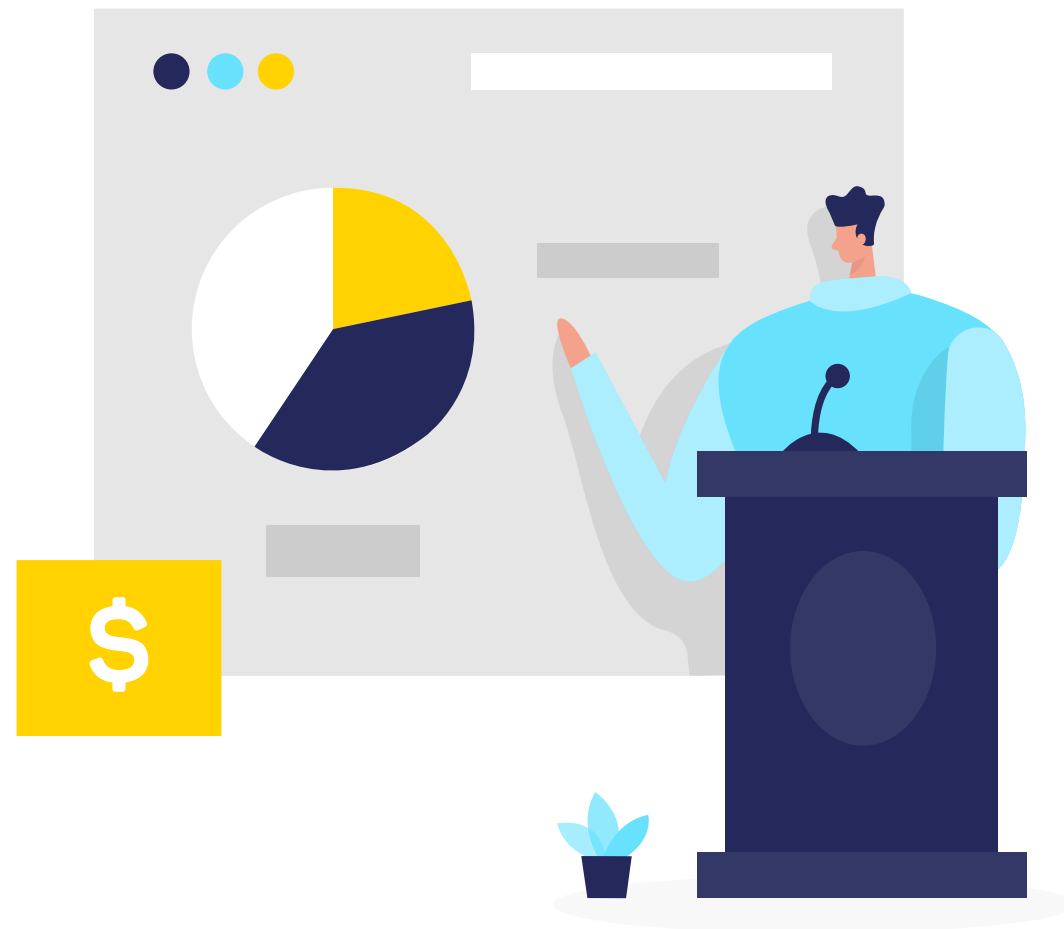
- └ 自治体、不動産会社、大学への導入提案

機能拡張:

- └ 粗大ごみ申込サポート機能



ごみ分別の未来



まとめ

課題: 日本の複雑なごみ分別 + 言葉の壁 = 大きな社会課題

解決策: AI分別アプリ「EcoNavi」撮るだけ、わかる。
あなたの街の、あなたの言葉で。

価値: いつでも正しい情報で安心
言葉の壁をなくし使いやすい
楽しく続けて未来へ貢献

現状: プロトタイプ完成済み → 実証実験パートナー募集中！

